

神協連ニュース

No.488 2023年1月16日

横浜市港北区新横浜2丁目6番地13
新横浜ステーションビル9階 〒222-0033
TEL 045-473-1031 (代表)
FAX 045-473-9272
<http://www.coopkana.jp>



神奈川県生協連

2023年 賀詞交歓会が開催されました

神奈川県生活協同組合連合会(當具伸一代表理事会長、33会員)は、1月7日(土)、ワークピア横浜において2023年賀詞交歓会を開催し、200名が参加しました。

■ 日 時/2023年1月7日(土) 10:30~11:45

■ 会 場/ワークピア横浜 2階 おしどり・くじゃく

■ 出席者/200名

行政関係の皆さま: 4名(農林水産省関東農政局、横浜市)

議員関係の皆さま: 54名(国会議員関係24名、県議会関係22名、市議会関係8名)

友誼団体・協同組合・生協関係の皆さま: 68団体75名

会員生協の皆さま: 20生協67名

■ 主 催/神奈川県生活協同組合連合会理事会

■ 運営協力/ユーコープ、パルシステム神奈川、生活クラブ生協・神奈川、うらがCO-OP、全日本海員生協、富士フィルム生協、日本労働者協同組合連合会センター事業団神奈川県事業本部、フードバンクかながわ

■ 司 会/郷野 智砂子 神奈川県生協連常務理事(生活協同組合ユーコープ理事)
長谷川 伸行 神奈川県生協連理事(うらがCO-OP理事長)

■ 主催者挨拶/當具 伸一 神奈川県生協連代表理事会長

■ ご来賓挨拶/行政を代表して 神奈川県知事 黒岩 祐治 様(メッセージ代読)

県議会を代表して 神奈川県議会議長 しきだ 博昭 様

協同組合を代表して 神奈川県農業協同組合中央会副会長 平本 光男 様

労働福祉団体を代表して 神奈川県労働者福祉協議会会長 吉坂 義正 様

■ 乾 杯/神奈川新聞社社長 須藤 浩之 様

■ 閉会挨拶/藤田 順子 神奈川県生協連理事(パルシステム神奈川理事長)



■ ご来賓の皆さま／

しきだ博昭 様 神奈川県議会議長
 平本 光男 様 神奈川県農業協同組合中央会代表理事副会長
 吉坂 義正 様 神奈川県労働者福祉協議会会長
 須藤 浩之 様 神奈川新聞社代表取締役社長
 清水 富雄 様 横浜市会議長
 森 正人 様 横浜市経済局市民経済労働部部長
 高橋 征人 様 神奈川県漁業協同組合連合会代表理事会長
 浦郷 由季 様 一般社団法人 全国消費者団体連絡会代表理事・事務局長
 阿南 久 様 公益財団法人 横浜市消費者協会理事長（代表理事）
 高岡 俊之 様 神奈川県弁護士会会長
 梅原 出 様 神奈川県ユニセフ協会会長
 浅間 生弥 様 公益財団法人かながわ国際交流財団専務理事
 佐竹 博 様 横浜YMCA総主事
 武井 共夫 様 特定非営利活動法人 消費者支援かながわ理事長
 丸山 進 様 神奈川県原爆被災者の会会長
 林 克己 様 日本労働組合総連合会神奈川県連合会事務局長
 河西 英彦 様 特定非営利活動法人 神奈川災害ボランティアネットワーク理事長



2023年新年のご挨拶

神奈川県生活協同組合連合会
 代表理事会長 當具 伸一



新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚誼にあずかり、心からお礼申し上げます。

2020年初頭より始まった、新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会や経済の在り方と、一人ひとりの意識と行動に甚大な影響を与えています。また、ロシアによるウクライナ侵略という蛮行は世界に大きな衝撃を与え、改めて平和の大切さを考えるきっかけとなっています。また、目を地域社会に転ずると、二つの貧困（経済的貧困と社会的孤立）が広がっています。

私たち神奈川の生協は、時代の変化とその時代が孕む社会の矛盾に向き合い、消費者・組合員の暮らしの願いの実現のために活動をしてきました。

2022年度は、大きく3つの特徴のある活動を、皆様の支援を得ながら繰り広げてまいりました。

第1に、「フードバンクかながわの取り組みです。「もったいない」を～「分かち合い」・「ありがとう」へのスローガンはコロナ禍の格差と貧困が明らかになる中で大きな共感を呼び、食品寄贈事業者247社（団体）、食品受け取り団体（行政・社協含む）308団体と大きく広がっています。

第2は、「神奈川まるごと健康づくりの取り組みです。少子高齢化が進展する中、多くの人たちの共通の願いは「自分と家族の健康」です。黒岩知事も「健康寿命日本一」を掲げています。多くの団体と協力しながら、「食事・運動習慣・社会参加」をキーワードに取り組みをすすめました。

第3は、ユニセフの取り組みです。世界中の子供たちが5歳まで健やかに生きていけるようにという呼びかけに、多くの方が共感され、今年は、ロシアのウクライナ侵略で被害を受けているウクライナへの支援が多くの共感を呼んだこともあり県協会設立以来はじめて、1億円を超える募金を集めることができました。

これらの取り組みも、皆様のご支援とご指導があればこそ生み出されたものです。

本年も生協の基本である日常的な事業活動を更に発展させることと合わせて、「だれもが幸せに暮らせる地域社会づくりへの参加」をすすめて、行政・社協をはじめ地域の諸団体とのネットワークで「地域のセーフティネットの一員」となれるように、一層の努力をしてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



神奈川まるごと健康づくり



交流を楽しむ！フレイル対策

実践編

私達は日々様々な人と関わりながら生活を営んでおり、衣食住の全てが世界の誰かのお陰で成立していると言っても過言ではありません。また、日本一高い建物として知られているスカイツリーの建設には約6年間で延べ58万人が関わったそうです。1人の努力では決してなし得ないような偉業も人と人が協力する事で達成する事ができる事を示しています。人付き合いが好きな人がいれば嫌いな人もいますし、得意な人がいれば苦手な人もいますが、人と関わる事そのものは人間にとって基本的な機能であると言って良さそうです。社会との関わりは大まかに外出、交流、活動の3段階に分けられますが、これらが豊かな人ほど健康長寿やフレイル対策を達成できている事が示されています。

例えば、日常での外出頻度に着目した研究があります。私達の研究チームが20年ほど前に行ったものではありますが、高齢期における外出と健康との関連を示す重要な研究となっています。この研究では、身体はお元気だけれども外出が週1回程度以下の方を閉じこもり群、身体がお元気で日々外出している人を非閉じこもり群として比較し、2年後の障害の発生率を比べました。主要な結果として、閉じこもり群の方は非閉じこもり群の方と比べて3.2倍の確率で歩行障害が発生していました。つまり、外出が少ない人の方が歩行機能に問題が発生していたという事になります。

一般的な話しとして、高齢になった親御さんの転倒や怪我を心配してあまり外出しないようにお子さん達が忠告するという場合がありますが、調査の結果はこの真逆で、家の中にいて足を動かしていない方が歩行に対してリスクが生じていたわけです。

また、この研究の重要な点は、今現在の健康状態の比較ではなく、今現在はお元気な方の2年後の結果を比較しているという所にもあります。今は健康な高齢者

の方でも、この先の過ごし方によって障害の発生確率が変わるという事になります。外出の機会が少ないと感じている人は、まずはこまめに外出の機会を作った方が良さそうです。

外出した方が良いとは言っても何も用が無いのに外出するのはかえって大変な事です。散歩やウォーキングという形はもちろん良いですが、暑い、寒い、日差しが強い、雨が降っているといった気候や天候に左右されて出かける気力が無くなってしまうかも知れません。重要な事は外出するための切っ掛けがあるという事になります。

例えば誰かと会う予定があれば多少天気が悪くても約束した時間に待ち合わせ場所に向かうと思います。気軽に会うような友人や知人、親類がいないという方や、人と話すのが苦手という方は何かの活動に参加するというのも良いと思います。活動には仕事もあれば、体操やスポーツ、囲碁・将棋のような趣味活動、公園の清掃や子ども食堂のスタッフのようなボランティア活動もあります。

活動の良いところは、いずれの場合も目的・目標があるということです。外出のための外出、交流のための交流ではなく、何かの目的のための活動の中で自然と交流が生まれる、外出する切っ掛けになる、結果としてフレイル対策になっているという事は実は理想的な健康づくりとも言えます。高齢化や核家族化の進展で地縁や血縁が薄くなっているからこそ、現代では地域での活動の場がたくさんあります。時間が出来たときには是非身近で行われている様々な活動に目を向けてみてください。

東京都健康長寿医療センター研究所
鈴木 宏幸 先生



2023年 福祉セミナー

テーマ

2024年介護保険制度改定のポイント
～生協らしく取り組むために大切にしたいこと～

2024年は医療と介護のダブル制度改定が実施される年です。生協らしい介護事業をすすめるために改定の動向やポイントについてくわしく学びます。

- 日 時：2023年2月18日（土）13:30～15:30
- 開催方法：オンライン
- 講 師：山際 淳 氏
一般社団法人 全国コープ福祉事業連帯機構 常務理事

■ お申し込み方法についてはこちらから。
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/733e68f1767167>



お知らせ

神奈川県消費者団体連絡会公開講座

テーマ

新たな食べもの「フードテック」を考える

- 日 時：2023年2月9日（木）13:00～14:00
- 開催方法：オンライン（zoom）での学習会

講 師：天竺 啓祐 氏
（日本消費者連盟顧問・ジャーナリスト）

■ お申し込み

- ①右の二次元コード、もしくは下記URLから
<https://forms.gle/55VerTQvKyTut9b>



②メール:

kanagawakensyoudanren@gmail.com
（神奈川県消費者団体連絡会 庭野・佐々木）
※メールには「所属団体名」「氏名」「お電話番号」「資料データ受信可能なメールアドレス」の記載をお願いします。

2023年 神奈川県消費者のつどい開催案内

テーマ 私たちの食とくらしを考える

～「知らなかった」と泣く前に！～

お知らせ

- 日 時：2023年2月28日（火）10:00～15:15
- 開催方法：オンライン参加・会場参加
会場参加の方（人数制限有・要申込み）
新横浜オルタナティブ生活館

【全体会】基調講演 日本の食と農が危ない

講 師：鈴木 宣弘 氏（東京大学大学院教授）

事例報告：県内の生産者の取組について

講 師：飯草 英雄 氏（県農協青壮年部協議会）

【分科会1】「知って安心! 葬儀・お墓を考える」

～トラブルを防ぐために～

講 師：佐々木 悦子さん

（一社）日本エンディングサポート協会理事長

【分科会2】「地球とのフェアトレード」

～世界に優しく、地域に楽しく、未来に美しく～

講 師：原田 さとみさん

（エシカル・ペネロプ株式会社代表取締役）

■ 詳細・お申し込み方法についてはこちらから。



【目標達成】オンライン募金

「#あつまれ神奈川2022ハンドインハンド」
ご協力ありがとうございました。

コロナ禍のため街頭募金に代わり神奈川県ユニセフ協会では、昨年に引き続き2022年12月31日までオンライン募金「#あつまれ神奈川2022ハンドインハンド」に取り組みました。皆さまからのご支援・ご協力により、目標金額30万円を超過達成することができました。ありがとうございました。

■ 募金額……………312,563円

■ サポーター人数…40名

■ 動画出演人数……329名

なお募金は終了しましたが、神奈川県ユニセフ協会のホームページにアップされた動画は2023年1月末まで見ることができます。

見逃し動画やもう一度見たい動画がありましたら、ホームページよりご視聴ください。

あつまれ神奈川 2022
ハンドインハンド
unicef for every child

神奈川県ユニセフ協会

検索